

つかむ

調べる

まとめる

深める

～家康による上水道整備事業の意図について、考え合い意見文に表す活動～

1. 小单元名『幕府の政治と人々の暮らし』

(教科書：『小学社会 6 上』 p.64～74／学習指導要領：内容（1）オ）

2. 小单元の目標

江戸幕府による政治を調べる活動を通して、参勤交代や鎖国などの政策や城下町の整備によって政治が安定したことに気づき、江戸幕府が 265 年間続いた理由が分かる。

3. 小单元の評価規準

社会的事象への 関心・意欲・態度	社会的な 思考・判断・表現	観察・資料活用の 技能	社会的事象についての 知識・理解
江戸幕府の政治に関心をもち、意欲的に調べようとしている。また、人々の暮らしや身分について、関心をもって考えようとしている。	江戸幕府が 265 年間続いた理由について、徳川家康、秀忠、家光の 3 人が行った政治を根拠に考え、表現している。	江戸幕府が 265 年間続いた理由について、地図や年表、その他資料を活用して調べたことを作品やノートにまとめている。	徳川家康や家光の働きによって、武士を中心として身分制度が確立し、江戸幕府の政治が安定したことが分かっている。

4. 指導にあたって

(1) 児童の実態

蛇口をひねればきれいな水が出てくる現代において、子どもが昔の水道事情に思いを馳せる機会は少ない。江戸時代、生活に欠かせない水をどのように使用していたのか、また上水道の整備を第一に考えた徳川家康の意図は何だったのかを考える時間を小单元の中に設けることで、子どもの興味・関心を高めることができると考えた。

(2) 教材について

江戸時代を教材化する時に、多くは「統制」というキーワードで単元を構成する。しかし、家康から家光までの 3 代が行った政治を総合的に判断すると「統制」だけでは足りない。そこで本单元では「統制＝政治の安定」に「城下町の整備＝生活の安定」という視点を加え、江戸幕府の安定を捉えるようにする。

そこで、「城下町の整備」の重要性を子どもが理解できるように、「深める場面」で家康が行った上水道の整備を取り上げる。江戸のまちが世界的にも例を見ない 100 万人の大都市になったのは、塩害がひどく住みにくい江戸のまちを、様々な事業で住みやすいまちに変えた家康の功績と言っても過言ではない。城下町の整備が政治や生活の安定につながるという見方や考え方は、仙台藩を治めた伊達家、金沢藩を治めた前田家など諸大名の藩政を見る時にも生かすことができる。

(3) 指導上の工夫・留意点

本小单元での子どもの追究意欲を持続させるため、単元を貫く学習問題を設定する。これまでの

学習では、「安定」と「戦い」を繰り返してきた日本の歴史を学んできた。鎌倉や室町，戦国時代と比べて，江戸時代は 265 年という長い期間続いた時代である。明治から平成までを考えても，まだ 150 年ほどである。「なぜ，江戸幕府はそんなに長く続くことができたのか。」という子どもから生まれる疑問を整理し，単元を貫く学習問題を設定する。

5. 小単元の指導（総時数 7 時間）

時数	ねらい	○学習活動 ☆内容
① (つかむ)	鎌倉幕府や室町幕府と比較する活動を通して，江戸幕府が長く続いた理由に興味をもつことができるようにする。	○年表をもとに江戸幕府が長く続いたことを読み取り，分かったことをまとめ，学習問題をつかむ。 ☆江戸幕府は 1603 年に徳川家康によって開かれ，以後 1868 年まで 265 年間続いたこと。
① (調べる)	参勤交代や大名の配置，武家諸法度について調べ，幕府が強い力で全国の大名を統制する仕組みを整えたことが分かる。	○大名行列想像図や大名の配置図，武家諸法度などの資料をもとに調べ，分かったことや考えたことをまとめる。 ☆江戸幕府は，家康－秀忠－家光の 3 代で全国の大名を統制する仕組みをつくりあげたこと。
① (調べる)	外国との関わりについて調べ，鎖国や禁教などの政策を通して，外国の情報や貿易の利益を幕府が独占したことが分かる。	○キリスト教の取りしまりの図やふみ絵，長崎の出島の様子を表したイラストをもとに調べ，分かったことや考えたことをまとめる。 ☆江戸幕府は外国との関わりも統制することで，外国の情報や利益を独占することに成功したこと。
① (調べる)	鎖国のもとで行われた外国との交流について調べ，朝鮮や琉球，アイヌ民族との交易が，鎖国下の日本に大きな影響を与えたことが分かる。	○朝鮮通信使や琉球の使節，アイヌ民族の様子を表した資料をもとに調べ，分かったことや考えたことをまとめる。 ☆鎖国のもとでも，いくつかの地域との交流を行い，朝鮮や中国の文化が日本に伝えられていたこと。
① (調べる)	江戸時代の人々の暮らしと身分について調べ，上下関係を細かく分けることや，それぞれの身分に課す負担をはっきりさせたことで，幕府が人々を治めていたことが分かる。	○町人の暮らしや百姓に対する法令などの資料をもとに調べ，分かったことや考えたことをまとめる。 ☆世の中を支える武士と，武士を支える身分をはっきり区別したこと。百姓や町人の身分を区別し，さらにその下の身分も設けたこと。
① (調べる)	徳川家康が上水道の整備に力を注いだ意図を考え，話し合う活動を通して，家康が行った事業の価値を意見文に表すことができる。	○地図帳や水道遺構の資料をもとに考え，考えたことをもとに話し合う。 ☆住みにくい江戸の地を住みやすいまちに変えることで，人やものや金の動きを活性化し，人々の生活及び幕府の政治を安定させたこと。

① (ま と め る)	江戸幕府が行った政治について、大名や外国，人々を統制する仕組みづくりと，城下町づくりの視点に分けて，年表にまとめることができる。	○教科書 p.74 を参考に，年表づくりをする。できごとを書くだけではなく，政策とまちづくりの視点に分けてまとめる。 ☆江戸幕府が 265 年間続いたのは，統制する仕組みを整えたことと，世界にも誇れる城下町を整備したことが理由であること。
-------------------------	--	--

6. 本時の指導（第6／7時）

(1) 本時のねらい

徳川家康が上水道の整備に力を注いだ意図を考え，話し合う活動を通して，住みにくい江戸の地を住みやすいまちに変えることで人やものや金の動きを活性化したことに気付き，家康が行った事業の価値を意見文に表すことができる。

(2) 本時における考え合い表現し合う活動と指導の留意点

本時では，徳川家康が行った上水道整備について，**討論する活動を通して考えを深め，意見文にまとめる**。子どもは，前時までに江戸幕府が行った政治について学んでいる。しかし，江戸幕府が265年も続いた理由は，鎖国や，大名と人々を統制する仕組みだけではなくたのではないかと，という問いを子どもはもっている。それは，安土城下に水路を引いたり楽市楽座を設けたりして商工業を発達させた信長や，大阪城下の物流を盛んにして莫大な財を築いた豊臣秀吉について学んでいるからである。それらの**既習を生かして，家康が城下町をつくることに力を尽くした意味は何かという問いをもち**，上水道の整備という具体的な施策について調べ，考え合いながら追究していく。

(3) 本時の展開

時配	○学習活動 T：発問 C：児童の反応	◎資料 ◇留意点 ◆評価
15	○前時までに調べて分かったことを整理する。 T：江戸幕府が 265 年間続いた理由が分かりましたか。 C：大名の配置を工夫したり，参勤交代の制度を取り入れたりしたから続いたことが分かりました。 C：外国との関係も，鎖国をすることで情報や利益を独占できたことが大きかったと思います。 C：でも，まだ何か理由がありそうな気がします。 T：なぜそう思うのですか。 C：織田信長も豊臣秀吉も城下町を整備していたから。 C：徳川家康も江戸城の城下町を整備していそう…。 T：実は，1590 年に国替えされて江戸に入った家康は真っ先にあることをしました。 C：城づくりかな。政治の拠点になるので。 C：新田開発かな。食料の確保が大事なので。	◎ノート ◇江戸幕府が行った政策について振り返るよう指示し，既習を想起できるようにする。 ◇織田信長や豊臣秀吉が行った政治を想起した子どもの意見を取り上げ，城下町の本整備に意識が向くようにする。 ◇予想を立てることで，「城づくりでも水田づくりでもなく，な

	<p>T: どちらも違います。最初にしたのは水道の整備です。井の頭池の湧水を、水道をつくって引っ張りました。</p> <p>C: え！すごい。でもなぜ水道なんだろう。</p> <p>○本時の学習問題をつかむ。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>なぜ、徳川家康は江戸に入ってすぐに上水道の整備に取りかかったのだろう。</p> </div> <p>T: では、まず自分の考えをノートにまとめてみましょう。</p>	<p>ぜ上水道整備なのだろう。」という問いが生まれるようにする。</p> <p>◇考える時間を確保し、討論に向けた準備ができるようにする。</p> <p>◎教科書、資料集、写真など</p>
20	<p>○個人で考えたことを、学級全体で討論する。</p> <p>T: それでは、考えたことを教えてください。</p> <p>C: 私は、水は生活に欠かせないものなので、まず水道整備に取りかかったのだと考えました。</p> <p>C: 似ています。水は料理、洗濯に欠かせません。</p> <p>C: 生活だけではなく、作物を作るのにも、製品を作るのにも水は必要です。</p> <p>T: 今話した人たちは、水の重要性という視点で考えたのですね。別の視点で考えた人はいますか。</p> <p>C: 私は、家康が先を見通して作ったのだと思います。当時、水道は珍しいはずです。それを江戸に作ることでたくさんの人を住ませようとしたのだと思います。</p> <p>C: 確かに、水道があるまちに住みたいと多くの人が思うと思います。人が集まれば、物も集まり、まちが活性化します。</p> <p>C: 商売もさかんになって、お金もまわります。</p> <p>C: どんどんまちが活性化され、大都市になります。</p> <p>T: 先を見通して作ったという考えですね。実際に江戸のまちは、教科書 p.77 に書いてあるように人口 100 万人の大都市になったわけです。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>家康は、人々が生活しやすいまちをつくり、江戸のまちを発展させるために上水道の整備をしたんだね。</p> </div>	<p>◎ノート</p> <p>◇似た考えがつながるように話し合いを進めていく。</p> <p>◇「水の重要性」に触れた視点の考えを板書にまとめる。</p> <p>◇別の視点の考えを引き出す。</p> <p>◇似た考えがつながるように話し合いを進めていく。</p> <p>◇「家康の先見性」に触れた視点の考えを板書にまとめる。</p> <p>◇両方の視点の意見を合わせて、学習問題に対するまとめをしていく。</p>
10	<p>○徳川家康が行ったことの価値を意見文にまとめる。</p> <p>T: みなさんが予想したように、家康も城下町の整備に力を注いでいたのですね。</p> <p>C: 織田信長や豊臣秀吉と同じでした。</p> <p>T: まちの整備は今の時代にも通じる大事な政治の一つですね。教科書 p.147 を参考にして、家康から学んだことを意見文にまとめてみましょう。</p> <p>C: (意見文を書く)</p>	<p>◇住みやすいまちづくりは現代にも通じる営みであることに触れる。</p> <p>◆自分が考えたことや、討論の中で聞いた友達の考えを根拠に、家康の営みについて自分なりの意見を文章に書いている。(思・判・表/意見文)</p>